

# Online Meeting SDGs × Zoom

## 事前準備

- ・カメラオンでお顔が見えるように
- ・Zoom名には「番号/名前」を記入

2020,10,23 PM9-10  
関西大学SDGsキャンパスサポーター



# *Time Schedule*

9 : 00 Opening

9 : 10~

Introduce about Fake News  
Share your idea and opinions

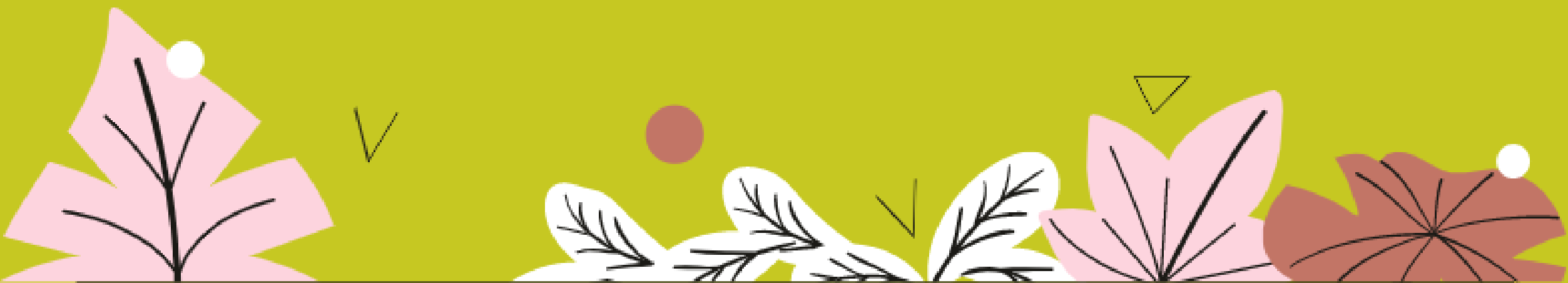
9 : 35~

Break-room  
Summary



# フェイクニュースのイメージ？

- SNSで拡散される
- 芸能人や有名人に関するゴシップ
- 人々の好奇心をあおる内容



# 2016年\_熊本震災での出来事

神奈川県会社員（20）は熊本地震の直後、

「動物園からライオンが逃げた」とTwitterにうその投稿



悪ふざけでやったと容疑を認めた



フェイクニュースを流したという疑いではなく、

動物園の業務を妨害したという疑いで逮捕

：市の職員を問い合わせ電話に対応させたから



# メキシコで起きたフェイクによる悲劇

2018年、メキシコ中部の小さな街アカトラン

リカルド・フロレスさん（21）と叔父のアルベルトさん（43）

①事の始まり：リカルドさんに関するフェイクが投稿される

「子どもを誘拐した男が捕まった」

「3人の子どもが連れ去られそうになっていたらしい」

嘘の情報がどんどん  
拡散されていった

②事実とうそが混同していく

- ・ 作業用の資材を購入していた際、2人は路上飲酒をしていた
- ・ この投稿がされたとき、実際に警察署の中にいた

③フェイク情報の拡散が止まらない

「これは誘拐犯の車だ。中にはお酒の瓶や鎖がある。これが証拠だ」

→車の中に入っていた作業用の鎖が、**誘拐の証拠**だと指摘された

④市民の正義感もどんどん高まっていく

「誘拐犯を解放しないために、皆さんの**支援が必要だ**」といった呼びかけ

⑤釈放されたとき、市民の怒りが頂点に達する

2人の疑い（飲酒運転）の疑いはすでに晴れていた

→警察署の前には150人の人が集まる

→2人に対して殴る・蹴るを加え、

最後にはガソリンをかけて焼き殺す

スマートフォンを  
使って撮影する人々



## ▶なぜ、善良な市民はこのフェイクを信じてしまったのか

- ・背景にあったのは人々の「不安」

∵メキシコでは、年間で推計8万件もの誘拐事件が発生している

- ・いまの社会に置き換えてみよう

人々の不安を大きくさせる情報

混乱やパニックを引き起こす情報

警察署に入っていく写真（事実）と、  
出回る情報（うそ）が混ざり合い、  
現実味を帯びたフェイク内容が形成  
されていく

# SDGsとフェイクの関わり

## SDGsWASHとは？

例) 衣服の製造過程で通常よりも多くのCO2を出すのに  
「天然」または「リサイクル素材」でつくられている、  
と良い面だけをアピールするファッションブランド





# アマゾンの自然が壊されてる！



# 情報リソースを確かめよう

- ・ AFP通信によると、これは1989年6月のアマゾン森林火災のとき
- ・ 写真家のRex Featuresさんが撮影したもの



- ・ **SDGs**や地球環境問題に対して意欲的に取り組む人であっても、「情報を正確に見極めること」は難しい

シェアする前に、  
一呼吸置いてみてね



#PrayForAmazonia

→森林火災や環境問題について訴える方法は効果的



### 写真の性質って？

- ・コピーがしやすい
- ・本来の情報にたどり着くことが難しい



### 私たちができること

- ・撮影日をできるだけ参照する
- ・Googleの画像検索を用いる  
(写真がネット上に存在したか調べられる)

情報と正しく向き合うためには、なにが必要なのかな



**Thank you for  
joining us!**

